



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月12日

上場会社名 株式会社エーアイティー 上場取引所 東
 コード番号 9381 URL http://www.ait-jp.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)矢倉 英一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理財務部長 (氏名)内田 利明 (TEL) 06(6260)3450
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	44,282	31.6	2,957	76.0	3,154	64.7	1,993	55.1
2021年2月期第3四半期	33,641	△4.0	1,679	12.8	1,915	7.1	1,285	5.0

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 2,306百万円(75.5%) 2021年2月期第3四半期 1,314百万円(30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	84.87	—
2021年2月期第3四半期	54.40	—

(注) 当社は、2020年7月13日開催の取締役会決議に基づき、2020年11月6日までの間に自己株式199,800株を取得しました。これらにより、2022年2月期第3四半期の1株当たり四半期純利益については、期中平均株式数23,493,654株にて算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	23,735	13,517	56.2
2021年2月期	21,630	12,231	55.6

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 13,343百万円 2021年2月期 12,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2022年2月期	—	22.00	—		
2022年2月期(予想)				36.00	58.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年2月期の期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 創業25周年記念配当2円00銭

3. 2022年2月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当29円00銭 上場15周年記念配当7円00銭

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	24.5	3,270	41.9	3,480	36.7	2,250	29.9	95.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 1 社(社名) AIT International of America, Inc.

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	23,913,600株	2021年2月期	23,913,600株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	419,975株	2021年2月期	419,912株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	23,493,654株	2021年2月期3Q	23,635,269株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、徐々に持ち直しの動きは見られるものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。当社グループを取り巻く事業環境としても、個人消費の低迷や海上コンテナ不足に加え、船舶の積載スペースの不足も重なり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、新規顧客の開拓や既存顧客との取引深耕を図り、主に中国や東南アジアから日本への輸入海上輸送の貨物集荷に注力するとともに、安定的に国際貨物輸送を行うべく船会社と交渉を重ねながら、コンテナと積載スペースの確保に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、巣ごもり消費の拡大から生活雑貨や家電製品等の取扱いは堅調な伸びを示し、アパレル関連製品の取扱いは僅かながらではありますが、回復基調に転じております。

また、海上コンテナの不足等から、当社グループで取扱う海上輸送の一部航路でも海上運賃が高騰し、依然として高い水準が続いており、当第3四半期連結累計期間の業績拡大、収益向上の追い風となりました。さらに、販売費及び一般管理費では、継続して見直しや削減を図ることにより、利益の創出に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は44,282百万円（前年同期比31.6%増）と前年同期を大きく上回りました。また、営業収益が好調に推移したことにより、営業利益は2,957百万円（前年同期比76.0%増）、経常利益は3,154百万円（前年同期比64.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,993百万円（前年同期比55.1%増）といずれも前年同期を大幅に上回ることとなりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

なお、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」では、第1四半期連結会計期間において、米国の現地法人「AIT International of America, Inc.」が清算終了したため、連結の範囲から除外しております。また、報告セグメントの「中国」では、「暖新国際貿易（上海）有限公司」が現在、解散及び清算に向けての準備を進めております。

①日本

当第3四半期連結累計期間では、断続的な緊急事態宣言の発出等により、社会経済活動が大きく制限され、個人消費にも大きな影響を与えて、景気の減速感も強まりを見せました。

このような厳しい環境下でありましたが、コロナ禍における巣ごもり消費が拡大を続ける中、一貫輸送の受注を増加させるべく営業活動に邁進し、加えて顧客へのサービス向上を図るべく、DXへの取り組みにも注力してまいりました。

その結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で205,579TEU（前年同期比2.2%増）、輸出入合計では215,709TEU（前年同期比2.0%増）と前年同期を上回りました。通関受注件数においても、子会社での受注が回復傾向にあり、113,029件（前年同期比6.8%増）と前年同期を上回る推移となりました。さらに、前述の数量の増加に加えて、海上コンテナの不足等による海上運賃の高騰は、営業収益、売上総利益を押し上げる大きな要因となりました。また、販売費及び一般管理費においては、継続して見直しを行うに留まらず、DXを活用し、自らの業務効率の改善にも取り組み、コストを圧縮することで更なる利益の創出を図ってまいりました。

以上のことから、日本における営業収益は36,913百万円（前年同期比36.7%増）と前年同期を上回り、セグメント利益は、売上総利益が大幅に増加したことに加え、人件費や営業活動における費用の抑制に努めたこと等で2,457百万円（前年同期比119.0%増）となりました。

②中国

アパレル関連の取扱いが低調な推移であることから、検品・検針等の付帯業務の受注は厳しい環境が続いておりますが、前年同期と比較して日本向け貨物の取扱量も回復し、中国国内での輸送関連の収益機会も増すこととなりました。

この結果、中国における営業収益は6,619百万円（前年同期比16.2%増）と前年同期を上回りました。一方でセグメント利益は、前第3四半期連結累計期間であった法定福利費の減免が無くなったこと等で費用が高んだ結果、466百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

③その他

台湾子会社においては、貨物の取扱量及び収益は安定的に確保出来たものの、ベトナム子会社では、新型コロナウイルスの感染急拡大の影響から収益が低下することとなりました。また、ミャンマー子会社でも、新型コロナウイルス感染症や政情不安等の影響から収益が低下し、加えて米国子会社の清算もあって、営業収益は749百万円（前年同期比21.1%減）となり、セグメント利益は33百万円（前年同期比49.0%減）となりました。

（注）TEU（Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算）とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,104百万円増加し23,735百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,686百万円増加し19,540百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,954百万円、立替金が547百万円、現金及び預金が167百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ581百万円減少し4,195百万円となりました。これは主に、顧客関連資産が197百万円、のれんが81百万円、繰延税金資産が61百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結累計期間における負債総額は、前連結会計年度末に比べ818百万円増加し10,218百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ844百万円増加し8,608百万円となりました。これは主に、買掛金が1,690百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が1,000百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し1,609百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が4百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,285百万円増加し13,517百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,993百万円を計上した一方で、剰余金の配当により986百万円が減少したことによるものであります。また、為替換算調整勘定が310百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、営業収益並びに営業利益以下の段階利益それぞれで前年同期を大きく上回り進捗しております。また、足元の状況としては、2021年11月18日に公表しました「業績予想の修正（上方修正）および配当予想の修正（増配・記念配当）に関するお知らせ」に記載しております修正予想の範囲内で推移しております。つきましては、2021年11月18日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

なお、引き続き、経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,653	10,821
受取手形及び売掛金	4,507	6,461
立替金	1,375	1,922
その他	358	388
貸倒引当金	△41	△54
流動資産合計	16,853	19,540
固定資産		
有形固定資産	774	594
無形固定資産		
のれん	870	788
顧客関連資産	2,105	1,908
その他	188	160
無形固定資産合計	3,164	2,857
投資その他の資産		
投資有価証券	460	434
差入保証金	244	240
その他	134	101
貸倒引当金	△0	△33
投資その他の資産合計	838	743
固定資産合計	4,777	4,195
資産合計	21,630	23,735
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,247	3,938
1年内返済予定の長期借入金	3,700	2,700
未払法人税等	580	516
賞与引当金	389	263
役員賞与引当金	35	22
その他	811	1,168
流動負債合計	7,764	8,608
固定負債		
繰延税金負債	501	496
退職給付に係る負債	584	627
役員退職慰労引当金	140	148
資産除去債務	210	216
その他	198	119
固定負債合計	1,634	1,609
負債合計	9,399	10,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271	271
資本剰余金	5,275	5,274
利益剰余金	6,808	7,815
自己株式	△392	△392
株主資本合計	11,962	12,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	10
為替換算調整勘定	57	367
退職給付に係る調整累計額	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	59	374
非支配株主持分	209	174
純資産合計	12,231	13,517
負債純資産合計	21,630	23,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
営業収益		
輸送事業収入	33,641	44,282
営業収益合計	33,641	44,282
営業原価		
輸送事業仕入	27,508	36,865
営業原価合計	27,508	36,865
売上総利益	6,132	7,416
販売費及び一般管理費	4,452	4,459
営業利益	1,679	2,957
営業外収益		
受取利息	28	22
受取配当金	5	1
持分法による投資利益	135	142
為替差益	22	3
その他	47	37
営業外収益合計	239	207
営業外費用		
支払利息	2	9
その他	1	0
営業外費用合計	4	10
経常利益	1,915	3,154
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	3	2
会員権評価損	5	-
関係会社清算損	14	0
事業構造改革費用	-	87
特別損失合計	23	94
税金等調整前四半期純利益	1,891	3,060
法人税、住民税及び事業税	661	982
法人税等調整額	△86	56
法人税等合計	575	1,038
四半期純利益	1,316	2,021
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,285	1,993

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	1,316	2,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	3
為替換算調整勘定	△4	233
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	47
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△2	284
四半期包括利益	1,314	2,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,272	2,308
非支配株主に係る四半期包括利益	42	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であった「AIT International of America, Inc.」は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りに関して)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	26,995	5,696	32,692	949	33,641	—	33,641
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	128	2,787	2,915	412	3,327	△3,327	—
計	27,123	8,483	35,607	1,361	36,969	△3,327	33,641
セグメント利益	1,121	492	1,613	66	1,679	—	1,679

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。なお、米国の現地法人である「AIT International of America, Inc.」は2020年2月29日をもって営業を終了し、現在清算手続中であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	36,913	6,619	43,532	749	44,282	—	44,282
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	103	3,294	3,397	367	3,764	△3,764	—
計	37,016	9,913	46,930	1,116	48,046	△3,764	44,282
セグメント利益	2,457	466	2,923	33	2,957	—	2,957

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。なお、米国の現地法人である「AIT International of America, Inc.」は、第1四半期連結会計期間において、清算結了したため、連結の範囲から除外しております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。